あきらめていることは
一人暮らし、結婚、子育て

青年雇用
アンケートの声

正規の仕事を探していますが、なかなか見つかりません。今の賃金では、一人暮らしも結婚も子どもをつくることも全部あきらめています。アルバイトのくせにわがままを言っていると思われるかもしれませんが…。／20代・女性・アルバイト

障害者ヘルパーです。仕事の内容の割に低賃金で、手取りは月10～13万円。一時金も有給休暇もなし。一人暮らしできず、将来が見通せない。／20代・男性・正職員

共働きなのに、夫の帰宅が遅いため育児は私一人でこなしている。大変。子どもを安心して育てられる環境を！／20代・女性・事務職

みんなの宇治
2008.11.30 No.189

市民が主人公の21世紀宇治を創るネットワーク
Eメール ujisiminnet@yahoo.co.jp　Tel (28) 6436　宇治市神明宮北16-26

21宇治市民ネットは上記の見解を発表しました。

市民が主人公の 21 世紀宇治を創るネットワーク

12.7 市政転換！

市長を選んで

全国初
最低賃金
時給 1,000円以上 条例
実現

時給1,000円って ホンマに実現できるん？

もともときちんと確保されています

実は、宇治市発注の仕事では、働く人たちに時給1,000円以上の賃金が支払われることを前提に、契約予定金額が組まれています。
それが守られないのは、低入札競争や下請け業者へのピンハネに規制がないから。

中小企業の経営も守れる

元請けのピンハネに対して規制するので、下請け業者である地元の中小企業の経営を守ることができます。

だから、時給 1,000 円条例

低入札競争やピンハネを規制するために、公契約の条例（時給1,000円条例）をつくります。民間の方も含め、宇治市発注の仕事にたずさわる職場の労働者の賃金を、最低でも時給1,000円にします。

「宇治で働き続けたい、住み続けたい」という思いをもつ青年がたくさんいるのに、それが実現できない今の宇治市政があります。
住み続けたい、ここで働きつづけたい、そう思える宇治に変えていきましょう。

市長を選んで、宇治の働き方を変えよう

時給1,000円条例で、まずは宇治市の仕事に携わるみなさんの働き方を変えていきます。そこから、どんどん広げて宇治で働く全ての人に。
青年の働き方の格差を一緒になくしていきましょう。

時給 1,000 円条例が、ワークスタイルを変える！